



現代社会の「分断」とネットメディア

三浦麻子(大阪大学大学院人間科学研究科)

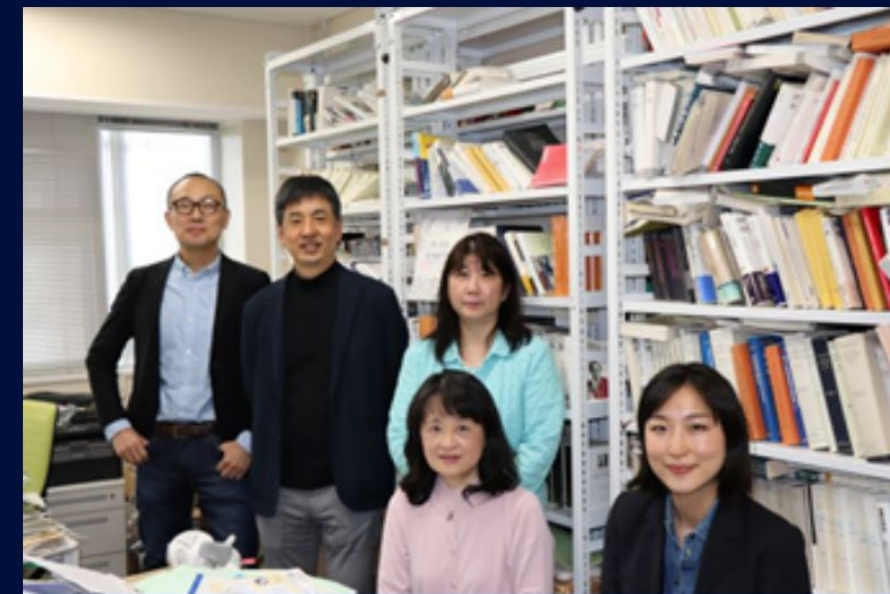
自己紹介

- 三浦 麻子(みうら あさこ)
 - 大阪大学大学院人間科学研究科/感染症総合教育研究拠点教授
 - 専門は社会心理学
 - 「コミュニケーションを通じて新しい「何か」が生まれるメカニズム」に関心を持ち、特にインターネット上の人間行動に関する研究を多くしている.
 - 東日本大震災, 新型コロナウイルス禍といった緊急事態についても、私たちの社会/心理を衝き動かす新しい「何か」と捉えて、研究対象としてきた.

事前に予測することが困難な一方で心身の健康を大きく損なう可能性のある諸問題について、特に社会の構成員たる「人間」に注目し、量と質、全体と個という対照的な視点を相互補完的に組み合わせてアプローチします。

研究課題

1. 予測不能健康問題の社会的影響に関するソーシャルセンシング
2. 社会的な困難に直面した当事者や対人援助職を対象とするエスノグラフィー
3. 未知のリスクに関するヘルスコミュニケーションの理論と技法の開発
4. 予測不能健康問題へのレジリエンスを高めるヘルスプロモーション



2021.4～

大阪大学
感染症総合教育研究拠点
CIDER
CENTER FOR
INFECTIOUS DISEASE EDUCATION
AND RESEARCH

感染症の脅威から
「いのちと暮らし」を守る

忽那賢志先生
(感染症学)

大竹文雄先生
(行動経済学)



大阪大学感染症総合教育研究拠点
CENTER FOR INFECTIOUS DISEASE EDUCATION AND RESEARCH

本日の話題

- ・ 未曾有の新型コロナウイルス感染禍は、現代社会における分断・格差・対立といった問題を前景化させた。人々のコミュニケーション不全と深く関わるこれらの問題に、距離や時間にまつわるコミュニケーションコストを低減させるはずのネットメディアはどのような影響をもつのか。社会心理学的観点から考察する。

・ Take home messages

- 社会は元来多様である。多様性は、ともすれば分断・格差・対立に結びつく。
- 緊急事態では、平時よりも他者との相違点に注意が向きやすくなり、それが憎悪しやすい。
- ネットメディア(特にSNS)は、社会の多様性を包摂している一方で、利用者にかえってそれを見失わせやすい構造をしているし、利用者自身も多様性を享受する「心の準備」は難しい。

という, 本題に入る前に...

まず, 心理学とは, 社会心理学とはどういう学問かを,
体験を通じて知っていただきたいと思います

そうすることで, 本講演のメッセージをより良く理解していただけたらと思います
ご協力よろしく願いいたします!!



『脳と視覚—グレゴリーの視覚心理学』より

人間の知覚は「正確」ではない。
不足している情報は、
記憶情報などの助けも借りて、
適当に補って認識してしまう。

明らかな間違いを容易に見落とすし、
一度そう見えたらそうとしか見えなくなる。

となれば、何をどう見ているか、
どう考えているかなどは、
人によって、あるいは時と場合によって
様々に異なることが予想される。

そこに(ある程度の)法則性はあるのか？

こころのことわり
(心理)

心理学とはいかなる学問か

- **心理学**とは、人間のさまざまなふるまいの原因として**心**の働きを仮定し、それを対象とする実証科学である。
- **心**は直接見えないので、その働きが原因となってどのような結果が生じるかを推論するために**行動**に手がかりを求め、実証のための証拠を集める。
- 典型的には、ある**行動**の原因となる**心**の働きを仮定し、その有無や程度を測定、あるいは人為的に操作した上で**行動**に関するデータを収集・分析することで、両者の因果関係を明らかにする。

特に、社会心理学とは

- ・ 人間の行動を規定する関数(Kurt Lewinによる)

$$B = f(P, E)$$

行動

Behavior

関数

function

個人

Person

環境

Environment

行動 B 「心」の中身や動きが外に現れたもの(表象)
個人 P 個人の内的な特性要因(性格や能力など)
環境 E その個人を取り巻く環境要因(状況や生活環境など)

社会心理学実験の基本

ある場面を設定・提示する(環境)



その場面で, 行動させる, あるいは,
どのように行動すると思うかをたずねる(行動)



回答者自身の「人となり」をたずねる(個人)

社会心理学とは

- ・ **基本的な関心** 人間心理(とその表象としての行動)のメカニズムの解明
- ・ **基本的な視座** 人間とは「社会的動物」、つまり「社会と互いに影響を与え合う(相互作用する存在)」である
- ・ **人間心理(とその表象としての行動)は**, 個人の内的要因(属性(性別など)や個人特性(性格など))だけで決まるのではなく, あるいはそれよりもむしろ, **環境(他者や周囲の事物, 文化によってもたらされる状況)からの影響によって決まる部分も大きい**, と考える

The power of situation / 状況の力

社会心理学者から見た新型コロナ感染禍

The Covid-19 Global Pandemic: A Natural Experiment in the Making

David M. Mutch^a

^aDepartment of Human Health and Nutritional Sciences, University of Guelph, Guelph, ON, Canada

As news began to emerge from China in late 2019 of a new infectious respiratory disease, nobody realized that we were about to be enrolled into a global natural experiment. To paraphrase Craig et al. [1], a natural experiment describes an event or intervention not under the control of researchers. But, in the short-term, research that elucidates how the virus spreads, how it infects a person, and what factors can modify the severity of infection will all aid in the development of effective vaccines. At the time of writing, over half a million people had

<https://www.karger.com/Article/FullText/510217>

Circulation

Volume 142, Issue 1, 7 July 2020, Pages 14-16
<https://doi.org/10.1161/CIRCULATIONAHA.120.047538>



PERSPECTIVE

The COVID-19 Pandemic A Global Natural Experiment

Blake Thomson, DPhil

Over the past several months, the coronavirus disease 2019 (COVID-19) outbreak has rapidly grown to become a global pandemic. Countries, regions, and localities have taken varied and, in many cases, drastic approaches to limit the impact of COVID-19. Governments across the world have issued stay-at-home orders to all of those who are not essential to the conduct of everyday life. Routines have been radically disrupted, with global society undergoing tremendous changes in a very short period of time. Some disruptions may last months, even years. Others

<https://www.ahajournals.org/doi/10.1161/CIRCULATIONAHA.120.047538>

A Huge Covid-19 Natural Experiment Is Underway—in Classrooms

As K-12 students head back to school, epidemiologists are watching for clues about how kids spread the virus, and what can stop it.



<https://www.wired.com/story/a-huge-covid-19-natural-experiment-is-underway-in-classrooms/>

自然実験 Natural experiment

先ほどの調査のように、研究者が意図して参加者を集めたり、人為的に原因を操作したりするのではなく、実社会に自然に生じた現象を観察することによって因果関係を検証したり、ある原因の有無や程度が結果に及ぼす影響を比較したりする研究法

Problem 1 [$N = 152$]: Imagine that the U.S. is preparing for the outbreak of an unusual Asian disease, which is expected to kill 600 people. Two alternative programs to combat the disease have been proposed. Assume that the exact scientific estimate of the consequences of the programs are as follows:

If Program A is adopted, 200 people will be saved.

If Program B is adopted, there is 1/3 probability that 600 people will be saved, and 2/3 probability that no people will be saved.

Which of the two programs would you favor?

A second group of respondents was given the cover story of problem 1 with a different formulation of the alternative programs, as follows:

Problem 2 [$N = 155$]:

If Program C is adopted 400 people will die.

If Program D is adopted there is 1/3 probability that nobody will die, and 2/3 probability that 600 people will die.

Which of the two programs would you favor?

Tversky & Kahneman(1981)

フレーミング効果

「利得(生)」と「損失(死)」のどちらに注目させるかで選択が異なる

問題1: 米国で強力なアジア風邪が大流行し, 600 人が死亡すると予想される。

これに対抗するべく提案された方策は2つであり, それぞれの方策の結果は科学的に以下のように見積もられている

A: 200人が助かる

B: 1/3の確率で600人全員が助かり,
2/3の確率で誰も助からない

2つの方策のうちどちらを支持するか?

問題2: 問題1と同様の設定で,

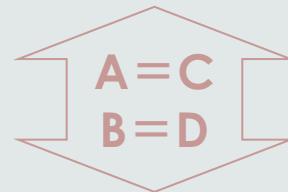
C: 400人が死ぬ

D: 1/3の確率で誰も死なずにすみ,
2/3の確率で600人全員が死ぬ

2つの方策のうちどちらを支持するか?

A 72%

B 28%



C 22%

D 78%

実際に「意思決定」行動を対象とした研究で設定された環境に酷似

これまでの研究で、繰り返し、頑健に、示されてきたのは、

人間の合理性は限定的である

文章表現が異なるだけで確率は同じなのに、選択率がまるで違う
合理的に振る舞おうと思ってはいるが、できるときとできないときがあり、案外できない

ということ。

どういう環境でどういう人がどのような非合理的な心理や行動を示しやすいのかを明らかにし、それをふまえた上で、社会の安定を目指すには何をどうすればよいかを考える(ための知見を提供する)のが社会心理学者の仕事。

人間の心のしくみ

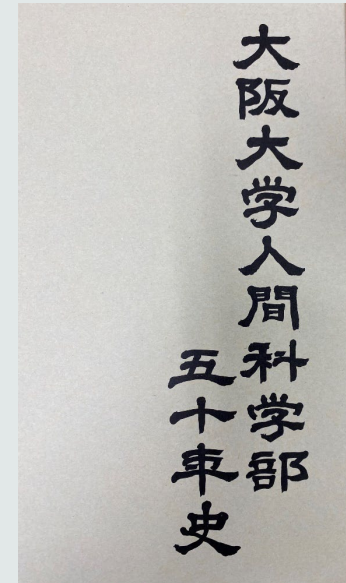
・認知バイアス

- 人間は, 論理的に正しくてもそれをくんで理性的に行動するとは限らない.
 - ・ 楽観性バイアス: 危機を認識していたとしても自分は大丈夫だろうと思う
 - ・ 正常性バイアス: 危機的な事態に瀕しても無視したり過小評価したりする
 - ・ 精緻化見込みモデル: やる気のない時や良く知らないことは熟慮しない
 - ・ ヒューリスティック: 熟慮する気や時間がない時は適当そうな選択肢を適当に選ぶ
 - ・ 認知的不協和: 心の中の矛盾の解消のためにご都合主義で態度を変える
- 様々な認知バイアスがあるが, その程度には個人による差があり, 環境の影響も強く受ける. 基本的には「見たいように」見る.

人間の心のしくみ

・社会的現実

- 私たちが「現実」だと認識しているもの
 - ・「見たいように」見ているもの
- 事実とは異なり, 唯一不変ではない
 - ・ 認知バイアスという色眼鏡を通して見える現実は事実とは異なり, また, その異なり方は人/環境により多様である.



こうしたしくみは人間の進化・適応の産物
つまり「人間らしさ」...抗いにくい

では、(ようやく)本題に入ります

新型コロナウイルス感染禍における「分断」について、
社会心理学的視点から考えてみることにしましょう

新型コロナ感染禍における「分断」

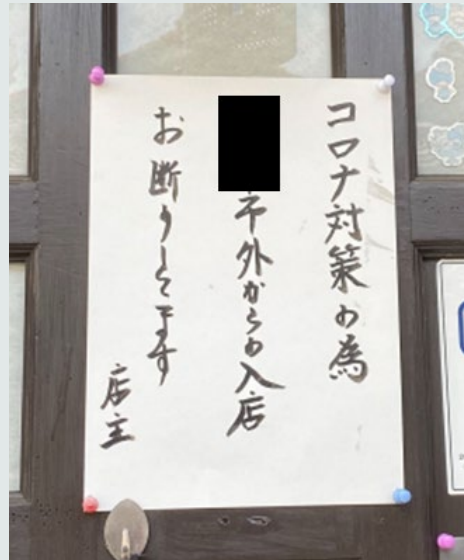
シンガポール人学生、ロンドンで暴行被害—新型コロナめぐる人種差別か

Wednesday, 04 March 2020 10:00

（シンガポール 3月3日 時事）新型コロナウイルスの感染が世界的に広がる中、シンガポール人の男子学生がロンドンで複数の男から暴行を受ける事件が発生した。現地当局は、人種差別的な動機が背景にあるとみて捜査を進めている。シンガポールの「ストレーツ・タイムズ」紙（電子版）が3日伝えた。

ロンドン警視庁の広報担当者によると、学生は2月24日午後9時15分ごろ、市中心部トッテナム・コート・ロード駅近くのオックスフォード通りで顔を殴られ負傷した。

警察は被害者の詳細を公開していないが、ロンドンに留学して2年になるというジョナサン・モクさん（23）が3日、フェイスブック投稿で被害を明らかにした。



差別や偏見に気づこう。

医療従事者、エッセンシャルワーカー、感染者やこれらの方々の家族…。様々な人への心ない言動や、根拠のない情報に基づく差別・偏見が多く見られます。その多くは日常のなかで無自覚になされる言動です。

法務省 (2022)

緊急事態で繰り返されてきた差別・偏見・排斥

感染は本人のせい？ 国際比較調査

新型コロナウイルスに感染した人がいたとしたら、それは本人のせいだと思う

If anyone had been infected with the Coronavirus (COVID-19), I think it was their fault.

Se una persona è stata infettata dal nuovo coronavirus, penso che sia stata colpa sua.

如果有人感染新冠肺炎, 那也是他们自己的责任

新型コロナウイルスに感染する人は、自業自得だと思う

I think anyone who gets infected with the Coronavirus (COVID-19) got what they deserved.

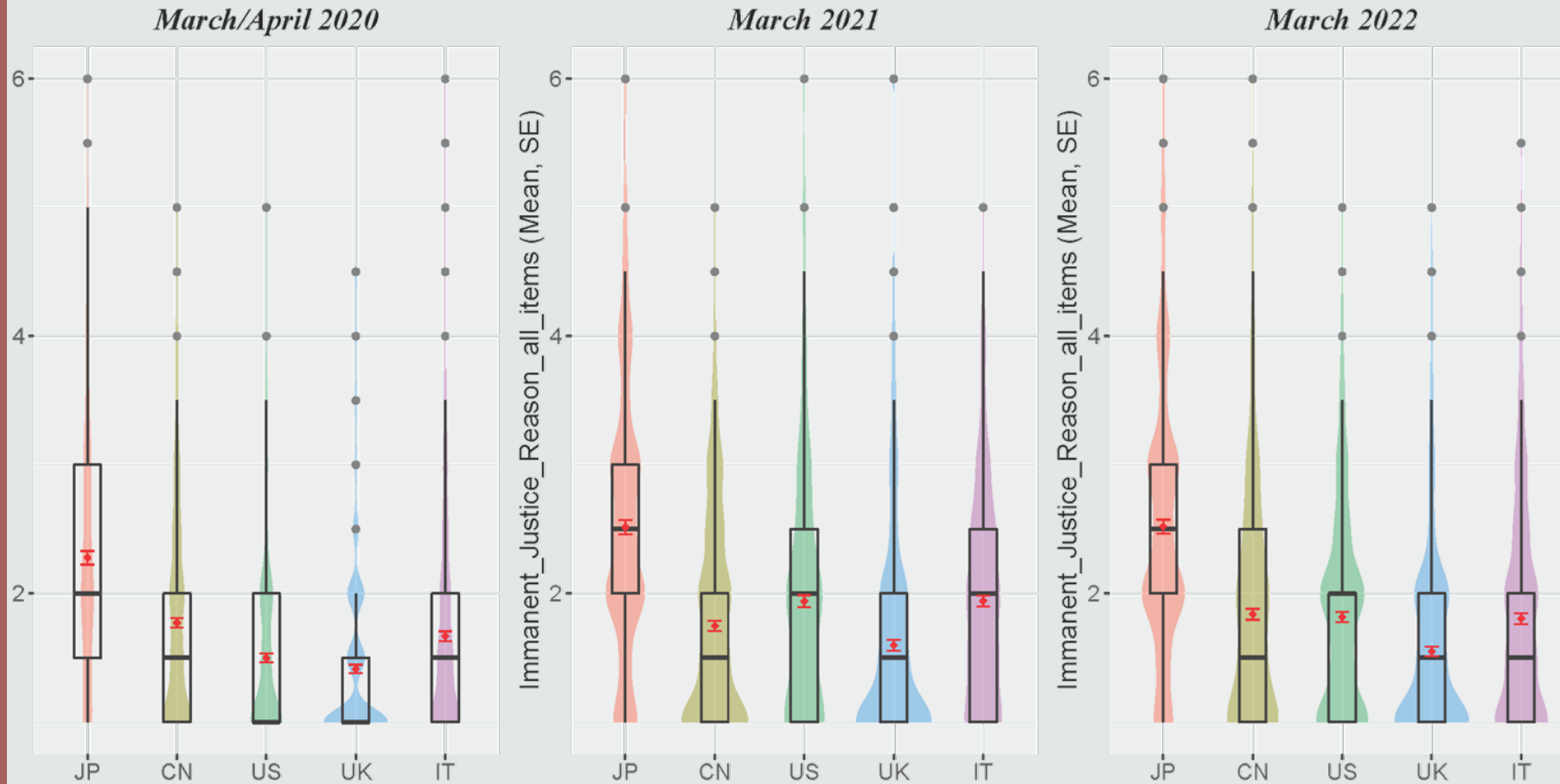
Penso che se una persona è stata infettata dal nuovo coronavirus, abbia ottenuto ciò che meritava.

我认为感染新冠肺炎的人是自作自受

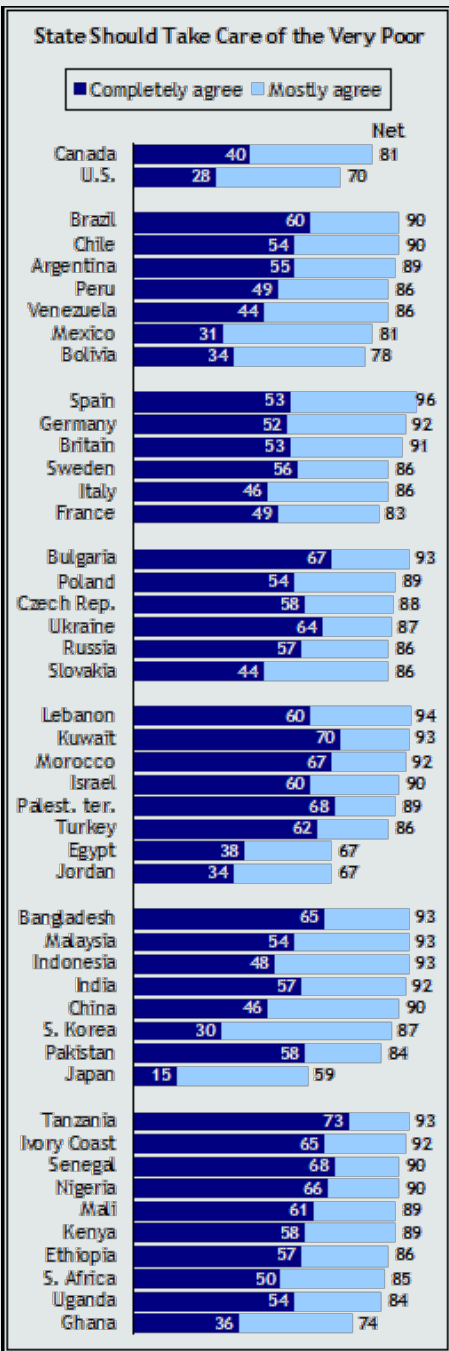
「1: まったくそう思わない」～「6: 非常にそう思う」

感染は本人のせい？ 国際比較調査

各国回答者(四百名)「本人のせい」平均値



日本人は諸外国人より「感染は本人のせい」と思う傾向が強い
vs 中国・アメリカ・イギリス・イタリア



- **Pew Research Center (2007)**
47-Nation Pew Global Attitudes Survey

- 「非常に貧しく自分で自分の面倒が見られない人々の面倒を見るのは政府の責任だ」



$$15+34=59$$



$$46+44=90$$



$$30+57=87$$



$$28+42=70$$

Charitable choice refers to direct United States government funding of religious organizations to provide social services.



$$53+38=91$$



$$46+40=86$$

完全に同意 + 大体同意

どんな人が「本人のせい」と思いやすい？

- ・ 非常時における政府の行動制限に賛成する人
- ・ 平均的な日本人が新型コロナに感染する可能性は低いと思う人
- ・ より若年層, 女性より男性
- ・ 居住地域や学歴, 職業などは関連せず

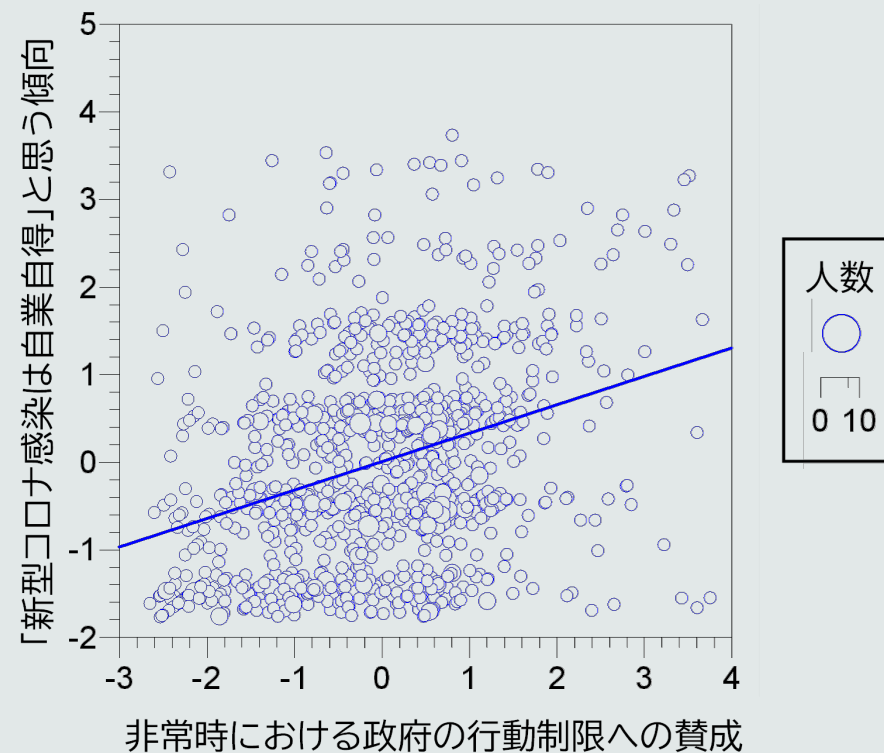
新型コロナウイルス感染禍(環境)



感染したのは「本人のせい」と思うかどうかを尋ねる(行動)



政府への行動制限への賛否,
感染確率の推定, 様々な属性(個人)



Murakami et al.(2022)

外集団排斥(部外者は出ていけ)

次にあげるような人々のうち、あなたが近所に住んでいて欲しくないのはどの人々ですか。

人種の異なる人々 / 移民や外国人労働者 / 宗教の異なる人々 / ふだんから外国語を話す人々

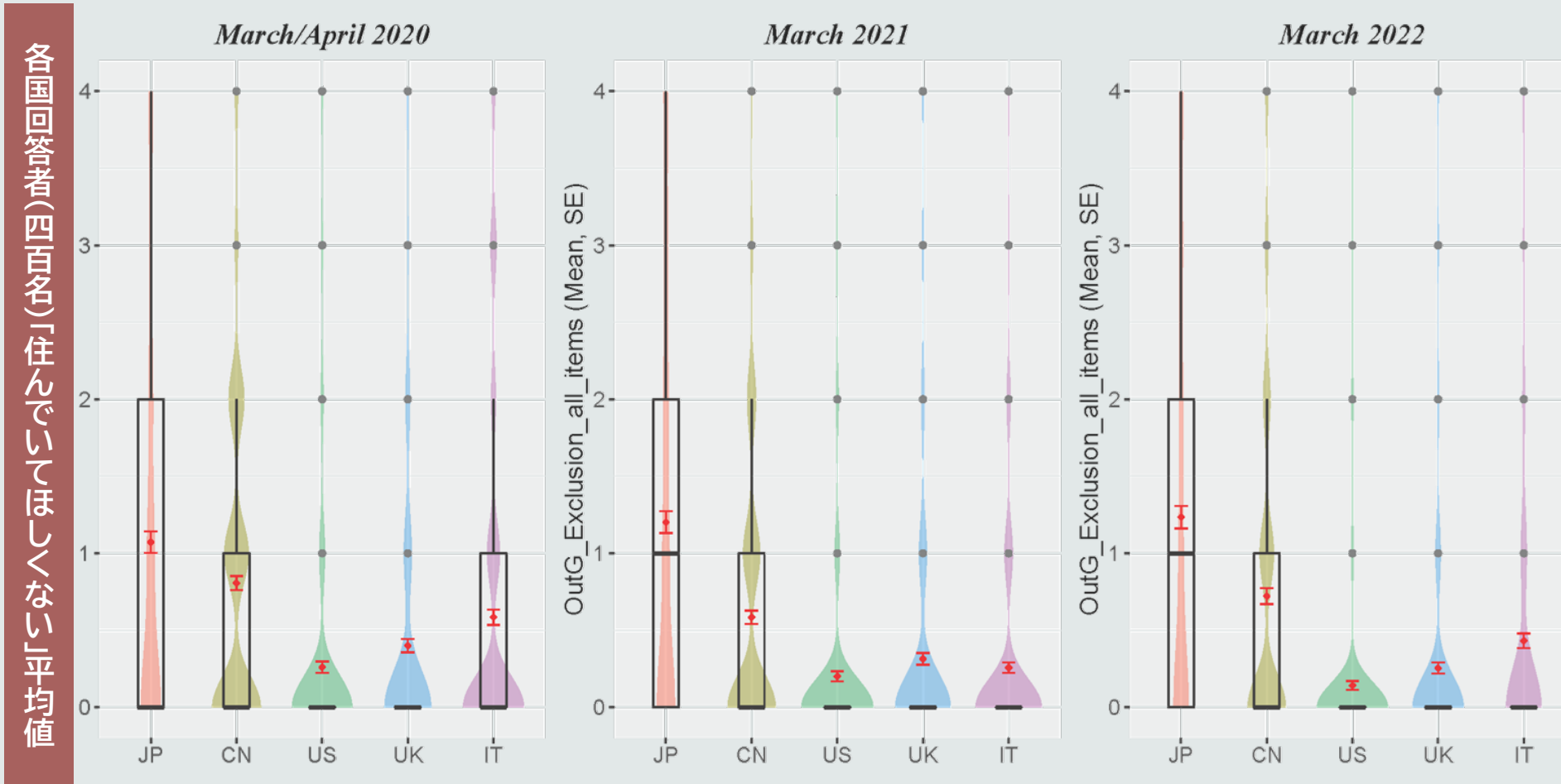
People of different race, Immigrants / Foreign workers, People of a different religion, People who speak a different language

Persone di razza diversa / Immigrati/lavoratori stranieri/ Persone di religione diversa / Persone che parlano una lingua diversa

不同种族/民族的人 / 外国移民/来华工作的外国人 / 不同宗教信仰的人 / 讲不同方言的人

「1: 近所に住んでいて欲しくない」あるいは「0: 近所に住んでいてもよい」, 4項目を加算(0-4)

部外者は出ていけ 国際比較結果



日本人は諸外国人より外集団を排斥する傾向が強い
vs 中国・アメリカ・イギリス・イタリア

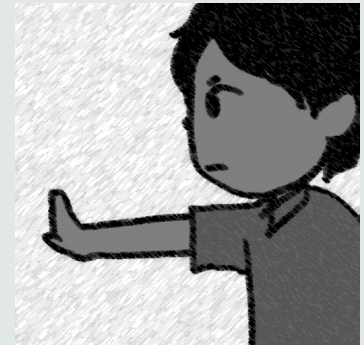
緊急事態で顕現化する「分断」の社会心理

・ 平時

- 自分が生きることにより困っていないので、周囲との違いはあまり気にならず、「みんな違ってみんないい」をある程度は許容できる

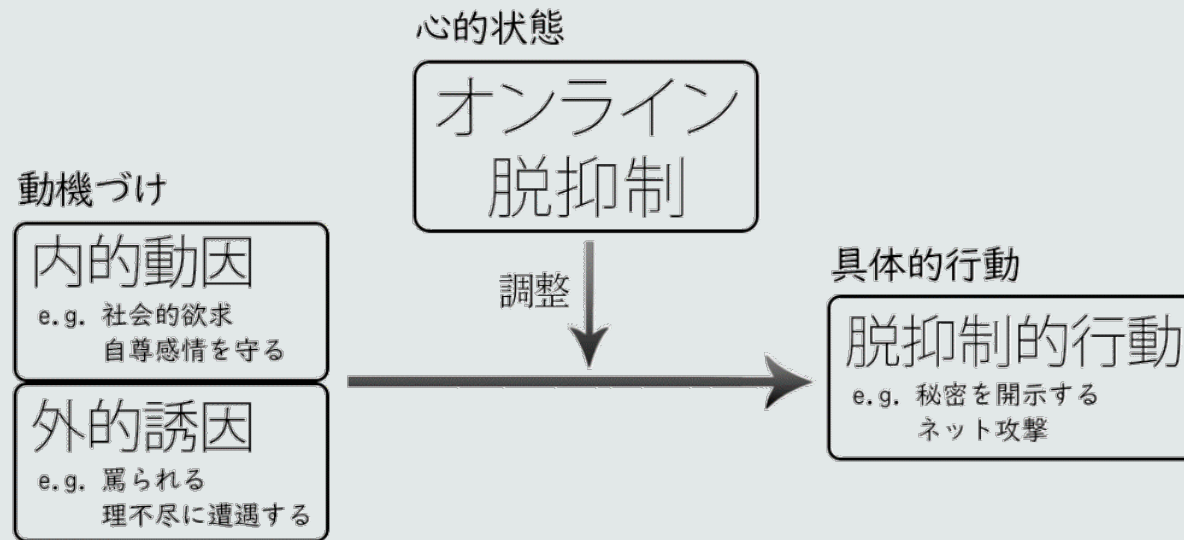
・ 緊急時(感染禍のほかにも、地震、台風など災害時も)

- 斉一性のある行動を求めたくなる(実際は「津波てんでんこ」のような教訓もあるが...)
 - 逸脱が気になり、それに対して厳しくなりがち
 - 自分と異なる特徴を持つ人たちは、斉一性のある行動を取ってくれないような気がして、危険だとみなしやすくなる
- ・ 結果として、多様性を許容しにくくなり、「分断」が生じやすくなる
 - ・ 日本のように、同質性の高い(ような気がする)国ではそれがさらに顕著になる

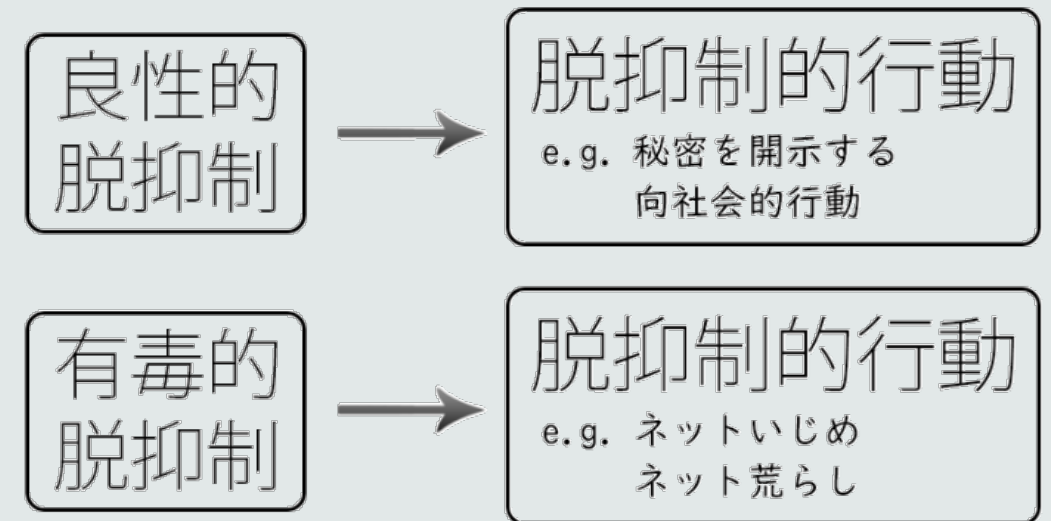


ネットメディアが「分断」を助長する？

- ・ ネットメディア
 - マスメディアとパーソナルメディアが渾然一体となったソーシャルメディア
 - 対面を主とする従来のものとは異なるコミュニケーション環境が行動に影響する



動機づけ・オンライン脱抑制モデル



良性的脱抑制/有毒的脱抑制モデル



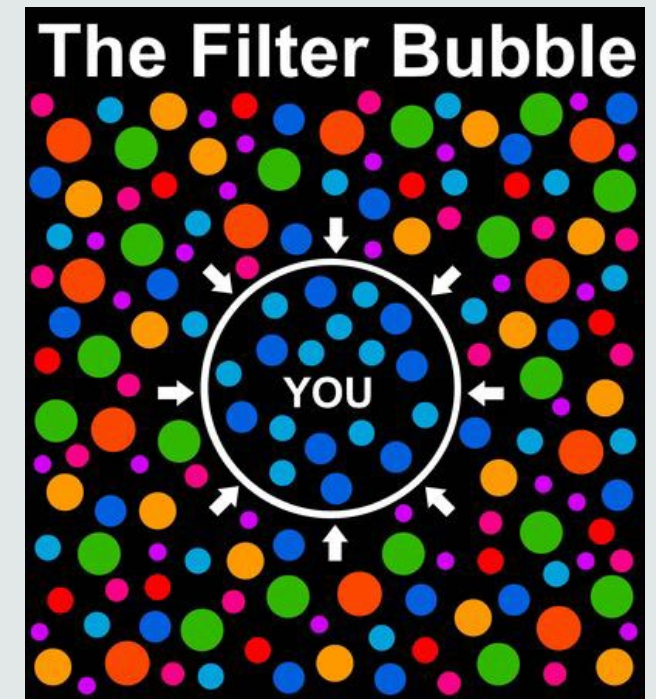
ソーシャルメディアの「理想」

- 平成23年版情報通信白書
 - 「人と人とを結びつけ, その絆を再生, 形成し, また, 個人の身近な不安や問題を解決する等実社会に対してプラスの影響を与えることが期待される」
- マスメディアと個人が同等の発言力を持ち, 時間や空間を超えて, 多様な意見が共有される
- 確かに「全体」としてみればそのとおり

フィルターバブル(泡の中で孤立)

環境(システム)の要因

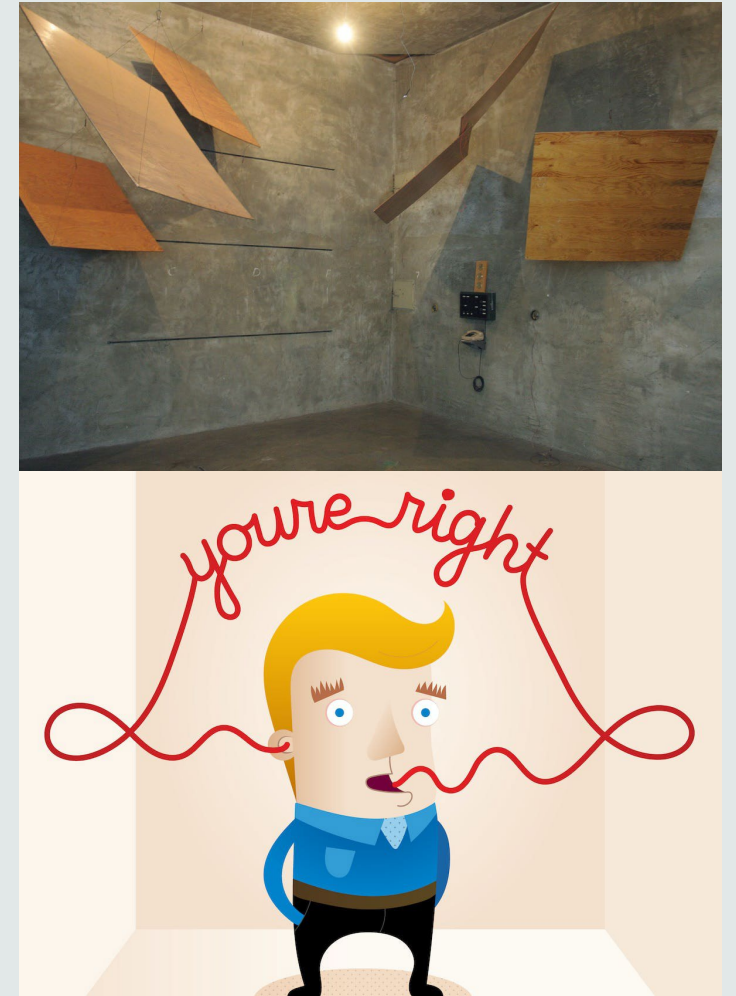
- ・「インターネットの検索サイトが提供するアルゴリズムが、個人の検索履歴やクリック履歴を分析・学習することで、各利用者が「見たい」情報が優先的に表示され、他の情報からは隔離される情報環境
- ・自分が見たい情報しか見えなくなることで、自身の考え方や価値観の「バブル(泡)」の中に孤立してしまう
- ・好むと好まざるとに関わらず、接触可能な情報は多様であるはずなのに、実際に接する情報は類似しているというパラドックスに陥りがち



エコーチェンバー(やまびこの小部屋)

個人の要因

- 人がソーシャルメディアの多様性に耐えるのはなかなか難しい. つまり, 見たいように見たい
- 人は, **自分が意見を言うと周りからやまびこのように同じ答えが返ってくる空間**を好む
 - この部屋に安住していると, 異なる価値観や, 自分にとって不都合な意見への耐性が落ちる
 - 周囲は支持してくれているのだから自分の意見は正しい, という信念が強まり, それと合致しない意見や価値観は受け入れにくくなる
 - 世間一般では受け入れられないような価値観でも自分の意見に合えば受け入れてしまうようになる



全体としては多様でも...

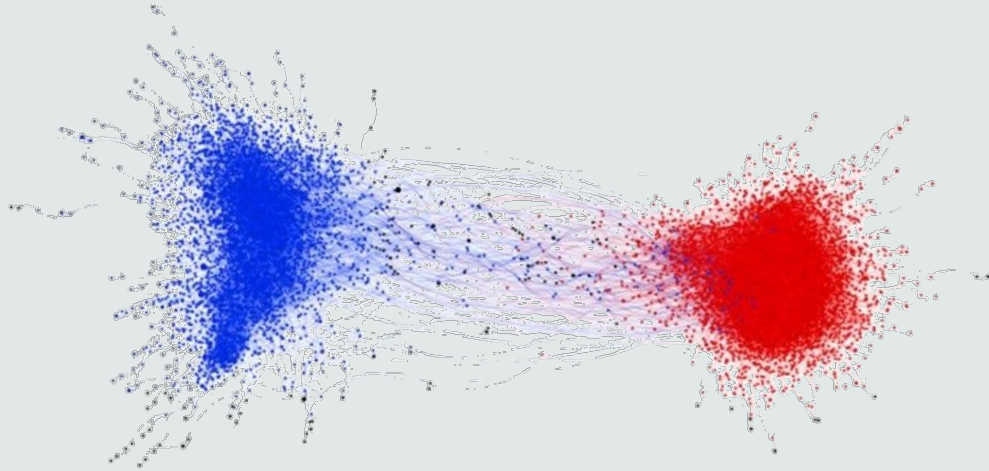
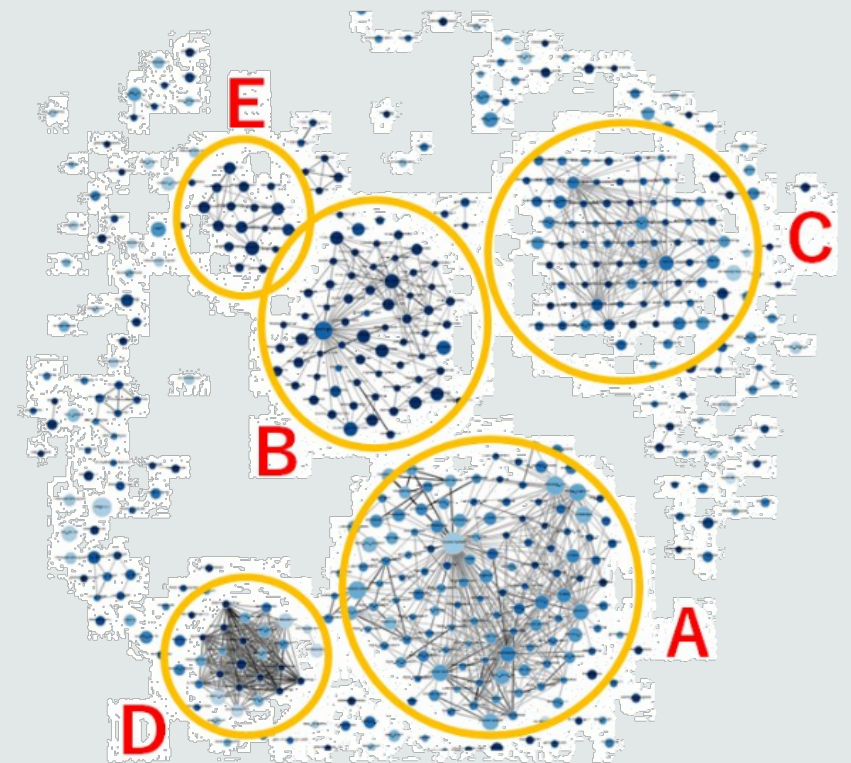


Fig. 3. Network graph of moral contagion shaded by political ideology. The graph represents a depiction of messages containing moral and emotional language, and their retweet activity, across all political topics (gun control, same-sex marriage, climate change). Nodes represent a user who sent a message, and edges (lines) represent a user retweeting another user. The two large communities were shaded based on the mean ideology of each respective community (blue represents a liberal mean, red represents a conservative mean).

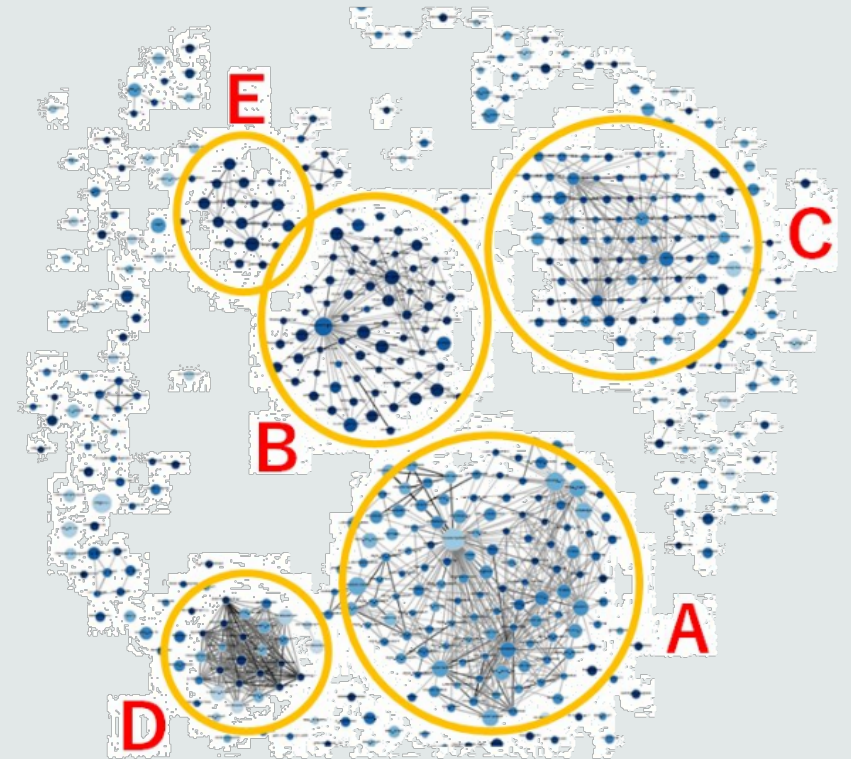
アメリカの政治的トピックに関するツイートの
リツイートネットワーク(赤:保守, 青:リベラル)
[Brady et al.\(2017\)](#)



2020年8月～12月に収集された「ワクチン」を含む
ツイート(4,476,129件)をリツイートしたユーザの類
似性に基づくクラスタリング
[鳥海\(2022\)](#)

全体としては多様でも...

- クラスタA
 - 「新型コロナワクチン」に関するデマや不安を煽るマスメディア報道への注意喚起
- クラスタB
 - 政治への批判
- クラスタC
 - ワクチンへの批判
- クラスタD
 - ワクチンに関するニュース(マスメディア報道)
- クラスタE
 - 特定国の忌避や陰謀論



2020年8月～12月に収集された「ワクチン」を含む
ツイート(4,476,129件)をリツイートしたユーザの類
似性に基づくクラスタリング
[鳥海\(2022\)](#)

全体としては多様でも...

国葬反対「ツイッターデモ」、3・7%の投稿で全体の半数...4219回のアカウントも

2023/01/24 06:52

安倍元首相国葬

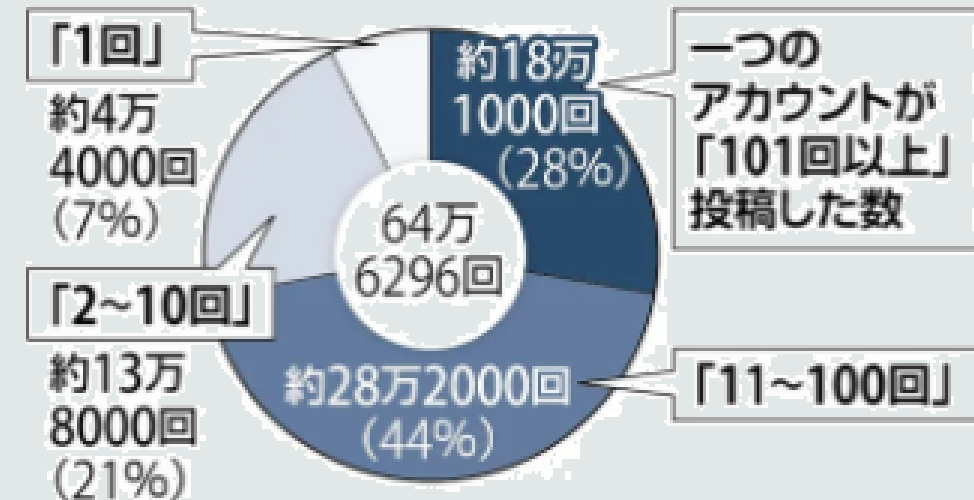
この記事を手紙する



政治や社会問題に関する主張を一斉に投稿する「ツイッターデモ」について、読売新聞が昨年の注目度順に上位10件を抽出し、分析したところ、参加したアカウントの平均1割弱による投稿が、全投稿の半数を占めていたことがわかった。コロナ禍以降、ツイッターデモは急拡大しているが、一部のアカウントによる主張が増幅されている実態が浮かん

最多の14回トレンド入りしたのは安倍晋三・元首相の国葬反対を訴えるデモで、累計64万6296回投稿された。詳しく調べると、参加した9万687件のアカウントのうち、わずか3.7%(3340件)による投稿が全体の半数を占めていた。中には4219回投稿したアカウントもあり、1000回以上のケースも10件あった。

最も多くトレンド入りしたデモの累計投稿数



読売新聞オンライン 2023/01/24

<https://www.yomiuri.co.jp/national/20230123-OYT1T50251/>

ツイッターやネットメディアに限らないが...

- パレートの法則
 - 「全体の数値の8割は, 全体を構成する要素のうちの2割の要素が生み出している」という経験則
- SNSなどのネットメディアで, 発信者のうち2割(≡ごく少数)による発信が全体の8割(≡大多数)を占めるのは, ツイッターデモに限らずよくある現象
 - 「発言しないとまずい」という環境ではないので, 「発言したい」という思いの強さがそのまま数に反映しやすい
 - 実際のところ, ネットメディアに限らずよくある話だが, それが公共の目にさらされうるかどうか異なる

多様性を少しでも享受させうるメディア環境

- こうした環境を, **情報接触者の意図(知りたいかどうか)に依らず様々な情報に接触する機会がある**, と捉えることもできる.
- 「別に知りたいわけでもないが接触した情報」の効果を検討する必要性が指摘されるようになった.
- 副産物的学習 Inadvertent learning
 - 特定の情報の入手を目的としない活動を通じた偶然/副産物的な学習
 - 「さあ、今から政治について学ぼぞ！」と構えずとも, 朝のしたくをしながら時計代わりにつけている情報番組から政治ニュースを知ることができる, ようなこと.

実際のニュースサイトを利用した実験

- Kobayashi et al.(2017)
- ヤフーの協力を得て実施.
- 参加者:ヤフーニュースを日常的に閲覧している調査会社モニタ875名
 - Webブラウザのアドオンアプリ(ヤフーのトップページを擬したモックアップサイトに誘導し, そのアクセス状況を記録できる)をインストールしてもらう.
 - 本人はいつもと同じようにヤフーニュースを見ているつもりが, 実は, 次の操作がされている(操作に気づいた人はいなかった).



実際のニュースサイトを利用した実験

・環境

- トピックス一覧(ヘッドライン)を4パターン設定し, うち1つに参加者をランダムに割り当てる.
- 表示される政治・国際ニュース数 0/2/4/6
 - ・ 通常は政治・国際ニュースが2~3件, その他はエンタメ, 社会ニュース
- 参加者は3ヶ月間普段通りにネットを利用する.

・個人

- マスメディア接触において, エンタメを好むか, ニュースを好むかの志向性をたずねる



実際のニュースサイトを利用した実験

- ・ 行動

- 政治に関する知識クイズ(22問)の正答数
 - ・ 実験終了直後
 - ・ 実験終了2ヶ月後(終了直後と同じ+別の問題)
- 同じ問題同士の比較により,
単純な変化量を検討
- 別の問題との比較により,
変化の汎化効果(spillover effect)を検討



実際のニュースサイトを利用した実験

ある場面を設定・提示する(環境)



回答者自身の「人となり」をたずねる(個人)



その場面で、行動させる、あるいは、
どのように行動すると思うかをたずねる(行動)

実際のニュースサイトを利用した実験

ネットメディア(ニュースサイト)閲覧
トピックに含まれるニュースの種類が異なる

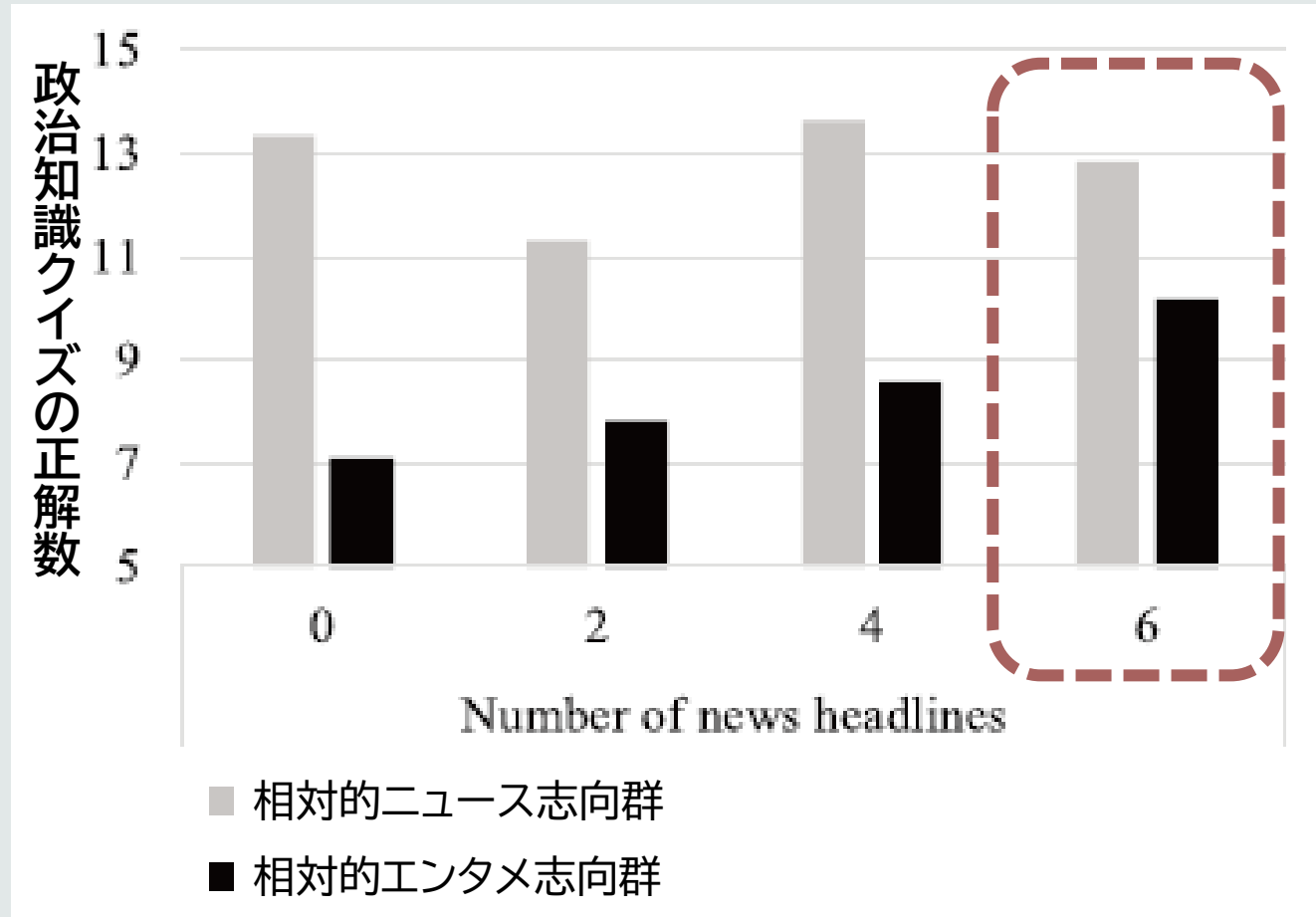


回答者自身のエンタメ志向性をたずねる



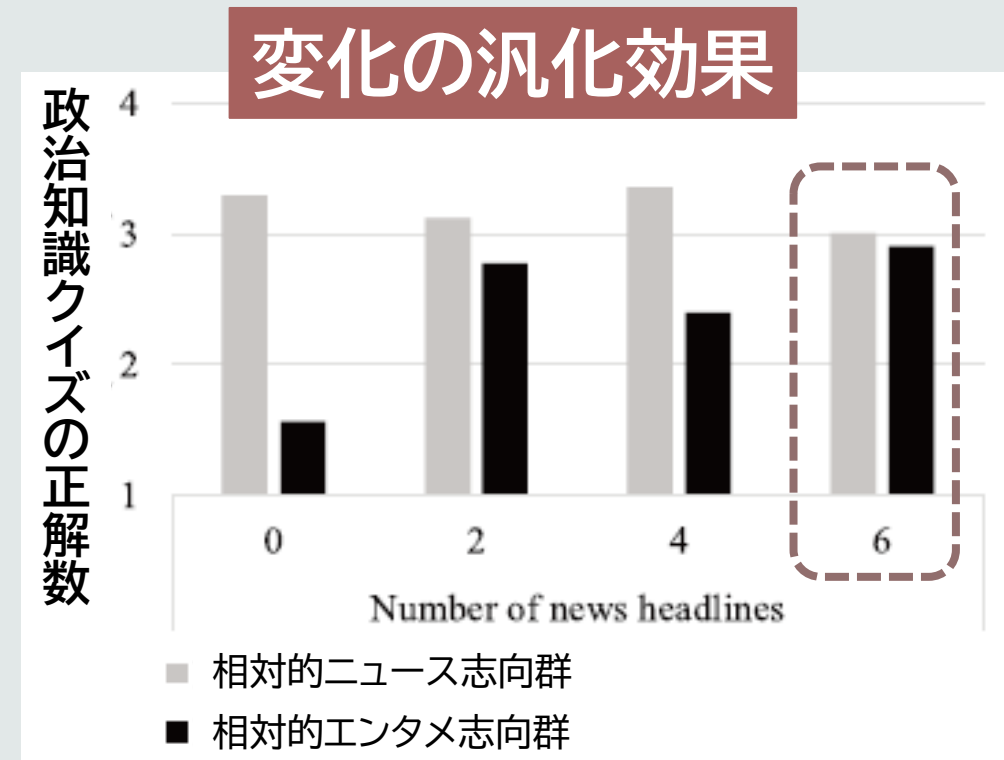
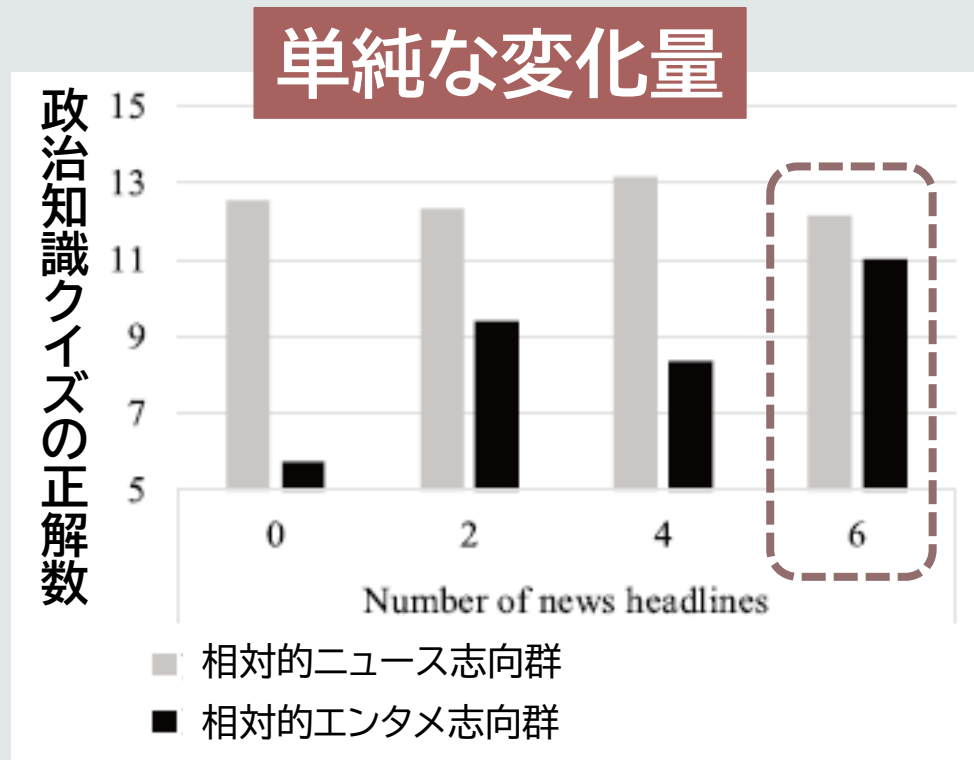
3ヶ月閲覧した後の政治知識をたずねる

実験終了直後の政治知識



政治・国際ニュースがヘッドラインに6件表示されるニュースサイトを閲覧する環境では、他の環境と異なり、エンタメ志向が高い参加者たちの政治知識は、ニュース志向が高い参加者と統計的に意味のある差がなく、比較的豊かだった。

実験終了2ヶ月後の政治知識



実験終了直後と同様に、2ヶ月後の政治知識についても、**政治・国際ニュースがヘッドラインに6件表示されるニュースサイトを閲覧した環境では**、他の環境と異なり、**エンタメ志向が高い参加者たちの政治知識は**、ニュース志向が高い参加者と統計的に意味のある差がなく、**比較的豊かだった**。汎化効果においても同様だった。

実験結果が示唆していること

- 政治知識について、ニュースサイトにアクセスすることによる副産物的学習が成立している。
- そのために、メディアもある程度努力している。
- では、ニュース一覧がエンタメトピックばかりになったら、今回と逆の効果が起きるだろうか？ つまり、市民を政治から遠ざけようと思えば、「パンとサーカス」のサーカスは効果的だろうか？
 - 民主主義国家では倫理的に許されない研究の可能性が高い。
 - あるとしたら、私たち自身が「実際にそうしたらこうなった」という自然実験の参加者となり、その結果を体験することになるだろう。



Take home messages

「分断」の不利益を受けないために

- ・ 社会は元来多様である。多様性は、ともすれば分断・格差・対立に結びつく。
- ・ 緊急事態では、平時よりも他者との相違点に注意が向きやすくなり、それが憎悪しやすい。
- ・ ネットメディア(特にSNS)は、社会の多様性を包摂している一方で、利用者にかえってそれを見失わせやすい構造をしているし、利用者自身も多様性を享受する「心の準備」は難しい。
- ・ ということを知り、それにそもそも人間は抗いにくいものなのだということが重要。